29　　弟に譲ろうとしても 　文法　受身形

　　　　、 連ナリテ在㆓ルモ 大　位㆒ニ、欲㆓シ 退キテ 避**一レ**ケント弟ニ、 ㋐数　㆑ルモ 病ヲ、①不　見　聴。　友　人ノ 上　郡　太　守　　　㋑物　故シ、規　　シテ 到㆓リ 下　亭㆒ニ 迎㆑ヘ 喪ヲ、発㆑シ 服ヲ 送㆑ル 之ヲ。因リテ ②㆔ ㆓　㆒ニ、言ヘラク「規 ニ遠㆓ザカリ 軍　営㆒ヲ、赴㆑キ 私ニ 違㆑ヒ 公ニ、当ニシト㆑及㆑ブ 挙㆑グルニ 奏ヲ。」答ヘテ 曰ハク、「威　明　欲㆑シ 得㆑ント 避㆑クルヲ弟ニ、㋒ニ 作㆓サシメントス激　発㆒ヲ。我　為㆓ニ 朝　廷㆒ノ 惜㆓シム 其ノ　功　用㆒ヲ。③　　㆓ 　私　　㆒耶ト。」

語注

皇甫規威明＝辺境警備の将軍、皇甫規のこと。は威明。

上郡太守＝太守は郡の長官。

下亭＝地名。

胡芳＝皇甫規の上官。高官の監察官であった。

挙奏＝奏上して罪に問う。

【原文】

皇　甫　規　威　明、 連　在　大　位、欲　退　避　弟、 数　上　病、不　見　聴。會　友　人　上　郡　太　守　王　旻　物　故、規　素　縞　到　下　亭　迎　喪、発　服　送　之。因　令　客　密　告　胡　芳、言「規 擅　遠　軍　営、赴　私　違　公、当　及　挙　奏。」答　曰、「威　明　欲　得　避　弟、故　作　激　発。我　為　朝　廷　惜　其　功　用。何　能　為　此　私　家　計　耶。」

問一　次の「内容わしづかみ」の空欄に本文中の漢字を書き入れよ。

〔　　　　　〕は高位にあったが、〔　　　〕に位を譲ろうとしていた。そのために、ある時、〔　　　　〕が自分に激怒するよう仕組んだが、うまくいかなかった。

問二　波線部㋐の読み方を、ひらがなで答えよ。（現代仮名遣いでよい。）〈4点〉

〔　　　　　　　　　　〕

問三　波線部㋑の意味を答えよ。また、波線部㋒のここでの意味として最も適当なものを選べ。 〈3点×2〉

㋑〔　　　　　　　　　　〕

㋒　ア　仕方なく　 イ　たいそう　 ウ　わざと　 エ　おおげさに

〔　　　〕

問四　チェック問題　受身形

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 封㆓ゼラル〜 ㆒ニ | | ㆓ **一レ** | | Ａ㆓〔セ〕ラル於（于・乎）Ｂ㆒ニ | | （被・為・所）㆓〜**一**〔セ〕 | |
|  | 〜に封ぜらる |  | ＡのＢ〔する〕所と為る |  | ＢにＡ〔せ〕らる |  | ～る・〜〔せ〕らる |

　⑴　次の表を完成させよ。〈1点×4〉

⑵　次の文の傍線部を語注を参考に、現代語訳せよ。 〈2点〉

後ルレバ 則チ ㆓ **一レ** （制＝支配する） （史記）

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問五　傍線部①について、

⑴　書き下し文にせよ。ただし、「聴」は終止形で「ゆるス」と読む動詞である。 〈6点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

⑵　どのようなことが「不見聴」であるのか。二十字以内で答えよ。〈12点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問六　傍線部②を現代語訳せよ。 〈6点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問七　傍線部③の解釈として最も適当なものを選べ。 〈10点〉

ア　友人の死に落胆するあまり俗世を離れて生きようとする皇甫規の個人的な思いを、受け入れることができるだろうか。

イ　皇甫規の裏切りは、引退したいがためで朝廷に対する悪意はないのだから、個人的な計略であっても許すべきだろうか。

ウ　罪を犯したように見せかけて引退しようとする皇甫規の個人的な企てを、思いどおりに進めさせることはできない。

エ　皇甫規の個人的な行動は大切な友人を密葬するためであり、私欲によるのではないのだから、受け入れてやらねばならない。

〔　　　〕

【解答】

問一　皇甫規　弟　胡芳

問二　しばしば〈4点〉

問三　㋑＝死ぬ　㋒＝ウ〈3点×2〉

問四　⑴　〈1点×4〉

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 封㆓ゼラル〜 ㆒ニ | | ㆓ **一レ** | | Ａ㆓〔セ〕ラル於（于・乎）Ｂ㆒ニ | | （被・為・所）㆓〜**一**〔セ〕 | |
| 〜に領土を与えられる。 | 〜に封ぜらる | ＡにＢされる。 | ＡのＢ〔する〕所と為る | ＢにＡされる。 | ＢにＡ〔せ〕らる | 〜れる。～られる。 | ～る・〜〔せ〕らる |

⑵　人に支配される。〈2点〉

問五　⑴　聴されず。〈6点〉

　　　⑵　皇甫規が、病気を理由に弟に位を譲ること。（20字）〈12点〉

問六　使者に胡芳にこっそりと告げさせて、〈6点〉

問七　ウ〈10点〉

【現代語訳】

　皇甫規威明は、高位に名を連ねていたが、退いて弟に地位を譲ろうとし、たびたび（自分は）病気であると（偽って）奏上したが、（退職することは）聞き入れられなかった。（あるとき、）偶然に（皇甫規の）友人の上郡太守である王旻が死んで、規は白い喪服を着て下亭の地へ到着し喪儀を迎え、喪に服してこれ〔＝友人〕を送った。（皇甫規は）そこで食客にこっそりと胡芳に報告させて、（客が）言うには、「規は自分の思うままに軍営を離れ、私用に出かけて公務に背きましたので、（皇甫規の職務怠慢を）奏上して罪に問うべきでございます。」と。（胡芳が）答えて言うには、「威明は弟に地位を譲る機会を得ようと思い、わざと（私を）激怒させようとしている。私は朝廷のためにその〔＝皇甫規の〕力が役に立っている（のに失う）ことを惜しむ。どうして（私が）この個人的な企てを進めることができようか、いやできない。」と。

【書き下し文】

、なりてにるも、きてにけんとし、をるも、されず。のし、してにりをへ、をしをる。りてをしてかににげしめ、へらく「にをざかり、にきにひ、にをぐるにぶべし。」と。へてはく、「にくるをんとし、にをさしめんとす。のにのをしむ。ぞくののをさんや。」と。

【補充問題】

問１　「因」（４行目）の読み方を、ひらがなで答えよ。（現代仮名遣いでよい。）また、意味を答えよ。

問２　「当及挙奏」（５行目）を、書き下せ。

問３　「当及挙奏」（５行目）の解釈として最も適当なものを選べ。

ア　皇甫規は身勝手なことをするので、奏上して罪に問うてもどうしようもない。

イ　皇甫規の身勝手な行動は、当然奏上した上で罪に問うべきである。

ウ　皇甫規は身勝手なことをする恐れがあるため、奏上して罪に問うておくのがよい。

エ　皇甫規の身勝手な行動を、朝廷のために奏上して罪に問わねばならない。

【補充問題解答】

問１　よりて／そこで

問２　当に奏を挙ぐるに及ぶべし（。」と。）

問３　イ